



# おうみはちまんエコ通信

4号

今回は、市民・生ごみリサイクルプロジェクトの生ごみリサイクル学習会の取材を行いました。



市民・生ごみリサイクルプロジェクトでは、「ごみの山を宝の山に」を合言葉にダンボールコンポストを多くの方に知ってもらい、実践してもらうための活動をされています。ダンボールコンポストとは段ボールを容器とした、生ごみ処理容器のことを言います。家庭から出る生ごみを基材の入れた段ボール箱に投入し、混ぜると微生物の働きにより生ごみを分解し、堆肥を作ることができます。現在、市民・生ごみリサイクルプロジェクトでは基材として使用するピートモスを竹粒粉へと変更し腐葉土との混合割合についてどの配分が一番発酵しやすいのか研究をされているところです。

(1)腐葉土

(2)竹粒粉

(3)米ぬか



ダンボールコンポストの基材 ↑

一般廃棄物の約3分の1が生ごみです。燃やして処理するのではなく、各家庭でダンボールコンポストを使って堆肥にすることでCO<sub>2</sub>の削減につながっていきます。ダンボールコンポストに興味がある方は是非ご家庭で始めて、楽しい家庭菜園などいかがでしょうか。

発行者：近江八幡市環境課 令和6年2月7日(水)

[お問合せ先]  
 市民・生ごみリサイクルプロジェクト  
 代表 吉田 栄治  
 TEL 090-8129-0214  
 e-mail pvpu50910@gaia.eonet.ne.jp